

## SynchroAZ (シンクロアイズ)

土工 施工管理 CB-210007-A 本誌 P172掲載

株式会社シンクロアイズ

### スマートグラスを用いた遠隔作業支援システム

生産性向上につながる技術として期待されている遠隔作業支援。カメラとディスプレイを内蔵した遠隔臨場システム「SynchroAZ (シンクロアイズ)」は、本体とバッテリーをつなげるだけで遠隔地とビデオ通話が始まり、スマートグラスを通して現場の状況を的確に伝えられる。熟練スタッフが直接現場に行くことなく現場スタッフのスキル不足を補えるほか、作業者の両手が空くので安全性向上にも寄与する。「シンクロアイズ」を開発した株式会社シンクロアイズ代表、武井理さんにお話をうかがった。

### リアルタイムで現場の視覚情報を共有

Q 「シンクロアイズ」はどのような製品ですか。

現場作業者がスマートグラスを使用してリアルタイムに視覚情報を共有し、本部から遠隔で作業指示

や技術指導ができる遠隔作業支援システムです。熟練した技術や経験を持つスタッフや管理者が複数

の現場を本部で管理・指導することができ、人手不足の改善に貢献します。

Q 開発の経緯をお話してください。

私は岐阜県中津川市の電器店の2代目ですが、事業の多角化を図る中で大規模太陽光発電事業に参画しました。遠隔地にある太陽光発電の電力監視システムを開発したことがITを活用した遠隔作業支援のスタートです。私自身が現場作業や監督を経験し、経営者としても現場の課題を痛感したことが開発のきっかけでした。

現場業務には想像以上の負担があります。ベテラン人材に仕事が集中してしまうことや、経験の浅い作業員さんが現場に出ざるを得ない

など、様々な課題がありました。ベテランのノウハウを若手に継承する仕組みもありません。求人しても現場の仕事にはなかなか人が集まらず、少ない人数で仕事を回していける仕組みが必要です。徹底的に現

場の方に寄り添ったプロダクトを開発しようと、シンプルな操作性で、信頼性があり、かつ分かりやすいという3つを開発コンセプトにしました。2019年に開発に着手して2020年6月にリリースしました。

#### 現場業務に集中できるシンプルな操作性

作業側モニター  
内側に小さなスクリーンがあり、その中で本部側の映像が確認可能

作業側カメラ  
この部分で見た映像を本部側へ共有



ヘルメットタイプ



メガネタイプ

Q 使い方や特長を教えてください。

眼鏡型のフレームにカメラやディスプレイが内蔵されている本体とモバイルバッテリーを取り付け、ケー

ブルをつなぐだけで本部のビデオ会議に参加できます。ヘルメットタイプもありますが、どちらもボタン

操作などは一切なしで、現場の映像をリアルタイムで共有でき本部の管理者とオンラインでやりとりでき

ます。現場の職人さんはITに苦手意識を持つ方が多いのです。プロフェッショナルな仕事に集中してもらうために、シンプルな方式にして、ITスキルの弱い方や不特定多数が使う時も安心して使える仕組みを考えました。リリースして1年半で、スーパーゼネコンをはじめ、数多くの企業で採用いただいています。NETISの登録も完了しています。

当社はZoom社とISVパートナー契約を結び、Zoomのプラットフォームのエンジンを利用したソフトを開発しています。ビデオ会議システムはZoomですので、100人まで参加できますし、録画もできます。音声や映像のタイムラグもなく、コミュニケーションもスムーズで

す。近づけば、細部の様子もしっかり見えます。録画は報告書や議事録、社員教育にも使えます。動画を社内で共有すればトラブル解決シートになりますし、ベテランの人がシンクロアイズをつけて、実況中継すれば新人向けの動画マニュアルとして活用でき、技術の継承にも役立ちます。

月額課金システムにし、スマートグラス1台の基本セットは月額3万5000円です。それ以外は一切費用が必要ありません。オプションでWi-Fiルータープランも用意しています。また、パソコン込みのプランもあります。最低利用期間は1年でその後は1カ月単位で解約もできます。



Q どのような用途に使えますか。

橋梁などの点検や測量、さらに遠隔臨場などの現場立会いなどで活用できます。どこの会社も高度な技術や経験のあるプロフェッショナルな人材は限られています。現場とビ

デオ会議でやりとりできれば、複数の現場が円滑に回っていき、生産性向上につながります。

国土交通省の直轄工事では遠隔臨場の試行が始まっています。

試行内容を見るとZoomなどのオンラインシステムを念頭に入れた建付けになっています。現場立会いから遠隔臨場へ変わっていくというのがこれからの大きなトレンドです。

### 便利さを実感できることがDXの第一歩

Q 導入の効果やメリットについてお聞かせください。

建設業界も労働人口減少や高齢化問題に直面しています。経験の少ない若手が現場に出て遠隔管理システムを使うことで心理的な安心感を得られ、安全性の向上や職場環境の改善、離職率の低下に

もつながります。さらにベテランスタッフや管理者の負担も軽減され、働き方改革にも貢献します。遠隔作業支援システムを使ったサポートや人材育成を若手にアピールすれば求人ツールとしても効果的で

す。レガシーな業界はDXが遅れていますが、DXの第一歩として、離れたところで視界を共有できる便利さを実感していただきたい。少ない予算で大きな効果が得られ、生産性の向上に寄与すると思います。

ホームページ上にも操作説明など詳しい情報があります。

